



第398号

2020年 2月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

世界病者の日 2月11日

病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カリックの医療関係者に対してだけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。

四旬節愛の献金

「愛の献金」は、カリタス・ジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民や孤児、そして、貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。

教区ホームページ

福音のひびき

2月の説教者

2日 主の奉獻
 窪口 松雄
 (七尾・輪島教会)

9日 年間第5主日
 ボンタッキョ・チブリアノ
 (金沢教会)

16日 年間第6主日
 北向 修一
 (春日井教会)

23日 年間第7主日
 暮林 響
 (神言修道会)



ベトナムグループによる 「夜空に輝く星へ」 クリスマスキャロル

大勢のベトナムの若い人たちによるクリスマスキャロルの集いが、昨年の12月22日に南山教会(名古屋市昭和区)聖堂で約700人の参加のもと盛大に開かれた。もともと南山教会では毎月第4日曜日の午後1時にベトナム語のミサがあり、今回はそれを前後して行われた。集い開始の1時間前からは練習のため、色とりどりのユニフォームや民族衣装を身につけた若者たちが徐々集まってきた。始まる頃には広い聖堂が一杯になった。

松浦博司司教の呼びかけによりこの会を企画したグエン・ト・ヒ神父(南山教会)は、「名古屋教区のほとんどの小教区にはベトナム人のグループがあり、その大部分は若い人々である。彼らは当然、名古屋教区の青年会に属するわけで、彼らも交流を持って一緒に活動できるよ



うにと、教区の青年会にも声を掛けたい」と経緯を話した。この集いには松浦司教も招待され「皆さんは名古屋教区のメンバーです。皆さんのおかげで教区は元気になっていくので、これからもよろしく」と、ときおり、ベトナム語も交えながら激励した。タレント顔負けの男女2人の司会者が、ベトナム語と日本語でプログラムを進めた。

各小教区からクリスマス聖歌、フォークソング、ダンス、独唱などにぎやかに披露され、その度に出演者には聖堂が割れんばかりの声援が送られた。出演者と観客は一体になってクリスマスを迎える喜びを表していた。平針教会はベトナムグループと教区青年会バンドのコラボで、そこに松浦司教も加わってクリスマスソングを披露した。最後はキリストの降誕劇が演じられ、クリスマスを迎えるのにふさわしい雰囲気の中で締めくくられた。

Chương trình Hoan Ca Giáng Sinh với chủ đề: “Theo Ánh Sao Đêm”

上文の日本語記事のベトナム語訳です。

Vào ngày 22 tháng 12 năm 2019, Giới trẻ Việt Nam thuộc giáo phận Nagoya đã nhiệt liệt tổ chức chương trình Hoan Ca Giáng Sinh tại thánh đường giáo xứ Nanzan (Showa-ku, Nagoya). Tràn ngập nơi đây là những tà áo dài truyền thống thướt tha, cùng những bộ trang phục thắm tươi, rực rỡ đầy sắc màu cá tính của Giới trẻ.

Chương trình được khởi xướng bởi Cha Giuse Nguyễn Thành Hy - Phó giáo xứ Nanzan (Linh mục dòng truyền giáo Ngôi Lời). Theo như Ngài đã cho biết: “Trong giáo phận Nagoya của chúng ta, có các cộng đoàn người Việt đang tham gia sinh hoạt cũng như cùng tham dự chung một chương trình thánh lễ tại giáo xứ, và đa số các bạn đang thuộc lứa tuổi của giới trẻ công giáo. Các bạn đến Nhật làm việc, hơn nữa lại sinh sống tại giáo phận này, thì chắc chắn một điều rằng mỗi một người trong các bạn đương nhiên sẽ được mặc định là thành viên của giới trẻ giáo phận, vậy nên chúng ta hãy cùng giao lưu, học hỏi và chia sẻ đức tin của giới trẻ công giáo Nhật - Việt, đây là điều tất yếu nên được thực hiện.”

Đức Cha Micae Matsuura Goro - Giám mục giáo phận Nagoya cũng đã đến tham dự chương trình Hoan Ca Giáng Sinh này, Ngài đã phát biểu bằng tiếng Việt một cách hóm hỉnh rằng: “Tất cả các con là thành viên của giáo phận Nagoya. Nhờ vào đức tin và nhiệt huyết của các con mà giáo phận Nagoya của chúng ta đây cũng đang trở nên sống động hơn. Từ nay về sau chúng ta cũng sẽ luôn cùng đồng hành với nhau nhé!”

Giới trẻ Nhật và Việt đã cùng giao lưu mật thiết với nhau qua các tiết mục hát Solo thánh ca, và các vũ điệu Giáng Sinh rất tuyệt vời. Bên cạnh đó, hai bạn dẫn chương trình là Tập (Bạn nam) và Tiên (Bạn nữ) cũng đã làm sôi động chương trình, mang đến cho cả thánh đường một bầu không khí tràn ngập niềm vui và hạnh phúc của mùa Giáng Sinh an lành.

Trước khi bước vào thánh lễ, chương trình hoan ca của chúng ta đã kết thúc với tiết mục diễn nguyện “Chúa Hài Đồng Giáng Sinh” mang đậm chất truyền giáo về đức tin công giáo. Hơn thế nữa, trong thánh lễ Cha Hy đã giảng về kinh nghiệm truyền giáo khi Ngài đang ngắm nhìn chòm sao Nam

Thập Tự trong đêm tối mịt mù ở đất nước Papua New Guinea: “Có những lúc không chừng, khi chúng ta bị chìm ngập trong bóng tối, thật khó khăn để tìm biết những chuyện gì đang xảy ra quanh ta, cho dù chúng ta có cố tìm cách nào đi chăng nữa, có lẽ cũng sẽ không thể nào tìm thấy được gì cả, vì chính chúng ta đang bị bóng đêm tối tăm đó bao phủ đi mất rồi. Chi bằng hãy nhìn xa hơn cao hơn ra ngoài khỏi bóng đêm, để tìm kiếm một vì sao đang thực sự tỏa sáng cho chúng ta và vì chúng ta, chính lúc đó chúng ta sẽ tìm được chân lý thực sự trong từng cuộc khổ nạn của mình. Giới trẻ Nhật và Việt tuy khác nhau về văn hoá truyền thống, ngôn ngữ cũng như cách suy nghĩ nhưng khi chúng ta nhìn về Thiên Chúa, chúng ta sẽ thấy nơi Ngài - Nơi mà tất cả chúng ta đều là con cái của Ngài, nơi mà tất cả chúng ta đều là anh em, bằng hữu của nhau trong tình yêu của Thiên Chúa”.



第13回クリスマス・メデイテーション

美しいオルガン演奏とコーラスで

ご降誕を喜び祝う



慣例と祝った。主催は布池教会
 なった「クリスマス・メデイテーション」クリスマス・メデイテーション「クリスマス」を思い巡らすの意が12月21日、布池教会聖堂(名古屋市中東区)で開かれた。学生や親子連れなどを始め、聖堂参加者たちは、このコンサートをおおいに楽しむと共に、クリスマス



話をする太田神父

最初に、参加者全員で「しずけき」を斉唱。第一部はオルガン演奏で、バツハ作曲「いざ来ませ、異邦人の救い主よ」など4曲が披露され、御子誕生の神秘や出来事がオルガンの持つ多彩さで表現された。第二部はコーラスで、ビーブル作曲の「We Wait」など4曲が演奏され、表情豊かで透明感のあるハーモニーが聖堂

皆で歌おう！ 音楽のアドベントカレンダー



オルガニスト吉田文さん企画によるクリスマスをお迎えるコンサートとお話12月14日、南山教会聖堂で行われた。今年

クリスマスより早く、待降節(アドベント・シーズン)半ばに行われるため、「音楽のアドベントカレンダー」と題してプログラムが組まれた。プログラム表紙にはアドベントカレンダーが印刷されていた。ブルーノ・ダシオン神父(南山中高校長、神言会)がルカ福音書2章の

読するなか、それに合わせて音楽が流れる。クライマックスはヘンデルのハレルヤコーラスの大合唱。続いて平和の君であるみ子への祈り「平和を求め祈り」が唱えられ、最後は会場の人々も一緒に「もろびとこぞりて」や「しずけき」などクリスマスキャロルをオルガン伴奏によって声高らかに歌った。



福音を朗読するブルーノ・ダシオン神父



この日の出演は、パイオオルガンが吉田文さん、合唱が南山教会聖歌隊有志と名古屋グレゴリ

「悲しみの星条旗」DVD上映会と対談

知らされていなかった 「トモダチ作戦」の被曝



対談するエイミ・ツジモトさん(中央)

東日本大震災から8年経ったが、「トモダチ作戦」に参加した原子力空母ロナルド・レーガンの兵士は福島第一原発事故による被曝で、すでに9人が死亡。今も多くの元兵士が深刻な健康被害を訴えている。アメリカ在住の国際ジャーナリストで被曝2世のエイミ・ツジモトさんはこの様な状況を朗読劇にした。そ

その後兵士たちは、被曝が原因と思われる、あらゆるがん、甲状腺疾患等に苦しみ、職を失い、困窮の中で満足な治療も受けられず、将来への不安から子供を持つことを諦める、家庭が崩壊するなど、かけがえのない人生を奪われた。彼ら40人以上が東京電力と日米の原子力メーカーを提訴した。裁判では被曝と健康被害の因果関係を証明する事が難しく、孤立して戦っている。自分たちのためだけでなく、福島の人々のため、人権を守るために。

陸沖に停泊した艦船は東電や日本政府から状況を知らされないまま懸命な救援活動を展開、多くの兵士が被曝した。

原発事故避難者・生の声

ある日突然、

日常と故郷を失った二人の訴え

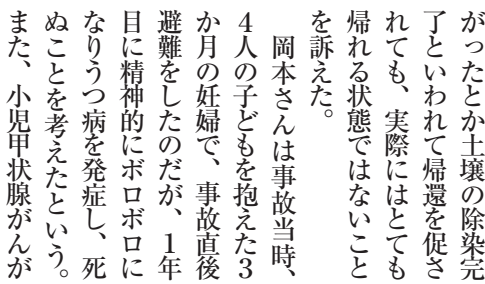
福島原発事故。私たちはこの事故のことを、そして、この事故で被害を被った人たちのことをどれほど知っているだろうか？ 知ろうとしていたで

あるうか？

2年前より原発の勉強会を行っている「次世代を考える会」は、福島原発事故の真実を少しでも知ろう、そして、今後どうすれば良いかを皆で考えようと、10月13日、南山教会マリヤ館ホールで、原発事故避難者一人の生の声を聞く講演会を開いた。



講演者は、名古屋に避難して来た伊藤昭昭さんと岡本早苗さん。いずれも、「原発事故損害賠償訴訟愛知岐阜」の原告団共同代表。カトリック信徒ばかりでなく、原発事



故に関心のある約70人が二人の切実な訴えに耳を傾けた。伊藤さんは映像を用いて、まず事故直後、日本のどのあたりまで放射性物質が流れたかを地図で示した。避難指定になっ

た人たちは何の保証もなくとりわけ困窮していることや、線量が下がったとか土壌の除染完了といわれて帰還を促されても、実際にはとても帰れる状態ではないことを訴えた。

講演会参加者の感想の一部を紹介する。「原発反対とうたいながら詳しいことは何も知らず、生の声を聞くことが出来てとても良かった」「真実が知らされていないことでの被曝者の方々の怒りが伝わってきた」「生徒たちにも機会があれば今日のお話を聞かせたい」「原発事故のことが遠くなりつつある中、まだ現実のことであることを強く意識した」

2020 世界祈禱日のご案内

「起き上がりなさい 床をかついで歩きなさい」
 日 時 3月6日(金) 9:30~12:30
 9:30 受付開始
 10:00 説明と讃美歌練習
 10:30 礼拝(6教派で担当) 説教 松浦悟郎司教
 12:30 閉会
 会場 カトリック布池教会 名古屋市中東区葵1丁目12-23
 主催・担当 信徒使徒職協議会 名古屋市中東区葵2丁目6-35
 ☎052-933-3435 (水曜・土曜午後のみ)

朗読劇のもととなった本



対談でツジモトさんは、事故は東電の危機管理への怠慢が招いた人災であると強調し、政府のエネルギー政策を原子力から自然エネルギーへの転換を求めていると締めくくった。惨状広がる被災地を命がけで助けた若い兵士たちの被曝を、私たちは知らされていなかった。事実を知った今、これら

すべてをのちを守るため、



パパ様が日本に来られる1ヶ月前でした。たいへん急なことで、教皇訪日の若者との集いイベント「A-Gifters」がテーマソングの演奏を頼まれたのです。パパ様に演奏の奉仕をさせていただくという、今後二度とないお恵みです。

他のバンドメンバーも、日々の仕事や勉強がある中で、練習とバンド合わせの日々でしたが、充実した1ヵ月間となりました。

当日は松浦司教様も共にベースを弾かれました。今回のテーマソング「Protejanos toda la vida」すべての命を守るため、教皇様の前で演奏させて頂くことで、神様と教皇様に、社会的に弱い人たちのためにも祈り、その人たちの命も守らなければならぬという決心ができたように思います。

音響スタッフさんの指示等で動くため、パパ様のお話を集中して聞くことは難しく、後にYouTubeで動画を見ることとなりましたが、それでもたくさんさんの愛とユーモアを持つパパ様を見て、

名古屋教区では、青年たちで活動している「A-Gifters」というバンドグループがあります。6年ほど前から、インターナショナルミサや新年の集いなどでたびたび演奏させていただき、私もキーボードの担当で使っていたりしております。暮林神父様から電



私は現在カトリック要理を勉強させていただいています。そのような中、11月25日、東京ドームの教皇様のミサに参加させていただきました。教皇様は親しみと慈愛に満ちたお姿で、感激して思わずかけ

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

感動せずにはいられません。私はワールドユースデーの時もお見かけしましたが、今回は距離が近かったこともあり、とても高貴なものを見たといいか、これが神様に会うということなんだなと思いました。神聖で輝かしく、また恐れられ多く、その場が照らされて、まるで清めてくださるような、たくさんさんの思いを抱きながら、パパ様の退堂までお見送りしました。

私も、平日頃は難しいですが、弱い立場の人々、孤独や愛に飢えている人々に、喜びや希望を与えたいなと思います。

いただいたお恵みを、周りの人々のために惜しみなく返していける人間であることを願い、道のは長いです、これからはキリスト者として、生かされて生きていくことを決心できたパパ様との恵み深い出会いにただただ感謝です。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。また、どのような人でも受け入れなさい、とおっしゃいました。

性虐待被害者のための祈りと償いの日

名古屋教区では「祈りと償いの日」の集いを行います。それぞれの小教区におかれましても心を合わせてお祈りください。

日時 3月8日(日) 9:30~

場所 カトリック平針教会 日進市赤池町西組116

詳細 松浦悟郎司教主司式による主日のミサミサ後、性虐待被害の現状についての報告

主催 名古屋教区セクシャル・ハラスメント対応委員会

東日本大震災・福島原発事故犠牲者追悼・復興祈願の日

日時 3月11日(水) 13:00~16:00

場所 カトリック布池教会大聖堂 名古屋市東区葵一丁目12-23

プログラム

- 13:00 講習会(栗村佳子さん)
- 14:30 祈りの集い

問合せ・連絡先

福信館気付 3.11実行委員会事務局
社会福音化推進部
☎052-935-7180 Fax 052-935-7195

主催 カトリック名古屋教区

2020年名古屋教区殉教者祭のお知らせ

①『栄国寺』

日時 2月1日(土) 10:30~

ロザリオの祈り 名古屋教区殉教者顕彰ミサ

司式 野村純一名誉司教

会場 栄国寺境内キリシタン顕彰碑前 名古屋市中区橋1-21-38

交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車 4番出口北へ3分「下茶屋公園」交差点を西へ4分

ご注意 栄国寺には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

連絡

- ・ロザリオをご持参ください。
- ・司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参ください。
- ・式場へは顕彰碑の南側広場(道路沿い)からお入りください。
- ・顕彰碑、墓石が建立されている区画には、入らないようにお願いします。

②『カトリック金沢教会』福者ユスト高山右近殉教者記念ミサ

日時 2月1日(土) 14:00~

司式 松浦悟郎司教

会場 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54

交通 JR金沢駅から市バスで「香林坊」バス停下車 徒歩5分

連絡 司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参ください。

問合せ ①②の問い合わせは名古屋教区宣教司牧評議会事務局 ☎052-936-8366 Fax 052-935-2254

〈信徒 この眠れる巨人〉 松浦悟郎司教講演会 in 北陸

信使徒職協議会が主催する松浦司教北陸講演「巨人」が昨年の11月10日、金沢教会で開催された。秋晴れに恵まれ、60人ほどの信徒の前に、「信徒の使徒職」について語られた。

「信徒の使徒職」として大切なことは「①この世の日常生活の中で発揮されること ②司祭らと協力して種々の教会活動を通して福音宣教すること ③教会の中で職務に任

命されて働くこと。神の国は、世俗で生きる信徒を通して実現されるのであり、信徒こそ教会と世界との懸け橋であり、世界に対する教会の現存そのもの」と、松浦司教は熱く語り掛けられた。

プログラム後半の分かれ合いでは、信徒が社会で使徒職を果たしていくために教会は何ができるか、何が足りないかを、それぞれの体験から話し合った。

金沢教会ではその日、午前中に堅信式があり、午後にはこの講演会、その後に北陸ブロック司祭の集まりを行うなど、忙しい中ですべて滞りなく行われ、感謝の一日となった。

写真は堅信式のもの



南山高・中学校女子部聖歌隊コンサート2019

南山高・中学校女子部聖歌隊コンサートが12月24日、金山南ビル1階のインターコモン(名古屋市中区)で開かれた。会場には学校のOGや父兄ら約150人が生徒たちの歌声に耳を傾けていた。

おそろいの聖歌隊の衣装を身にまとい、最初トーンチャイムの演奏が行われ、続いて聖歌隊担当教諭が「このコンサートで生徒が歌うクリスマスの歌を、ゆつくりとお楽しみください」と挨拶した。

「We wish you a Merry Christmas」「ひいらぎかざらん」「シングルベル」などおなじみの曲全12曲を歌い、生徒たちの清らかな歌声がホール一杯に響きわたった。



第1回高校ダンス部グランプリ決定戦で光ヶ丘女子高等学校(愛知)に栄冠!!

技術、表現、構成、衣装、音楽の総合得点を競うモダンダンス。予選を勝ち抜き全国から選ばれた高校ダンス部の強豪30校が参加して、日本一を競い合う「第1回日本高校ダンス部選手権公式選抜大会」が2019年11月4日、横浜アリーナで開催された。

「ルージュー見えない魅力であらわす色」をテーマに、愛知から出場した光ヶ丘女子高等学校は、女性らしく、力強く踊る姿が評価され全国一位のグランプリに輝いた。

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011.3.17(発災後募金開始)から 2019.12.31までの合計 31,257,718円

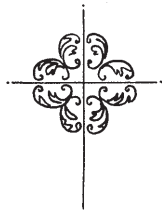
☆2019年12月 振込された支援金
2件 44,672円 (振込手数料引き去り後の金額)
振込ご協力いただいた小教区 金沢教会 川名山聖霊修道院

★名古屋教区の支援金は大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

- ・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
- ・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
<http://caritasjapan.jugem.jp>

支援金振込先
口座番号: 00820-5-137456
名義: カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います

ご連絡・問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422



光ヶ丘女子高等学校のクリスマスページェント2019

涙をさそう降誕劇 「時空をこえた新しい愛の風」

今年で33回目を迎えた光ヶ丘女子高等学校のクリスマスページェント2019「時空をこえた新しい愛の風」が、昨年の12月14日・15日、岡崎市民会館で開かれ、300人を超える生徒がクリスマス降誕劇を演じた。

プログラムは2幕構成で、第1幕は旧約聖書から、神による天地の創造、アダムとエバの誕生。しかし「善悪の知識の実」を食べたためエデンの園を開放される。二人の間

にカインとアベルの男の子を授かったが、人口が増えて悪がはびこる世の中をこえた新しい愛の風が、昨年のは、災いとして洪水を起すこととしてノアに箱舟を作らせる。

第2部は二ネベという町の預言者ヨナの話。彼は二ネベの人々に改心するよう呼びかける言葉を神から預かる。

時がたち、イスラエルの片田舎ナザレに住むマリアのもとへ、神は天使ガブリエルを遣わし、「神から恵みをいただきたい男の子が生まれる」と告げる。戸惑うマリアに寄り添う婚約者のヨゼフ。生まれてくる男の子は神の子イエス・キリストだった。

華やかなダンス、合唱のハーモニー、吹奏楽団の演奏はすばらしく劇を盛り上げた。フィナーレは全員で「さやかに星はきらめき」を歌い、降誕劇の余韻と生徒300人の熱演に、目に涙を浮かべる観客も少なくなかった。

よりよい未来をひらくため

教皇への献金 締切り迫る

日本カトリック司教協議会は、昨年来日されたフランシスコ教皇様への献金をお願いしております。皆さまからの献金はすべて来日テーマである「すべてのいのちを守るため ~ PROTECT ALL LIFE ~」を具現化する活動のために、教皇にお使い頂くためのものです。皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

振込先、振込口座は下記の通り。なお本献金は寄付金控除を受けることができません。

振込期限 1月31日まで

<p>三菱 UFJ 銀行</p> <p>金融機関名 三菱 UFJ 銀行 (銀行コード: 0005)</p> <p>支店名 門前仲町支店 (店番: 338)</p> <p>口座番号 (普通) 0076636</p> <p>口座名 (漢字) カトリック中央協議会 教皇への献金</p> <p>口座名 (カナ) カトリックチュウオウキョウギカイ</p>	<p>ゆうちょ銀行</p> <p>金融機関名 ゆうちょ銀行</p> <p>口座番号記号 00100-9-673962</p> <p>口座名 (漢字) カトリック中央協議会教皇への献金</p> <p>口座名 (カナ) カトリックチュウオウキョウギカイ</p> <p>キョウコウヘノケンキン</p> <p>(他行からの振込の場合)</p> <p>支店名 〇一九 (ゼロイチキョウ) 店 (店番: 019)</p> <p>口座番号 (当座) 0673962</p>
--	--

「青年のための聖書の学び」 2月16日(日)

テーマ: イエスの喜び (マルコ3章31~35節)

対象 青年男女 (18~32歳)

時間 14:00~19:50 (高校生16:30まで)
13:30玄関を開けます 14:00~聖書「学び」
15:00~「個人の祈り」 15:30~御言葉で感じた事
の分かち合い 16:00~16:30おやつ
16:30~17:30分かち合い 共同体と共に祈りと食事をする
(17:45~ご聖体顕示、晩の祈り、夕食) 食費: 自由献金
19:45~ 糾明サルヴェ・レジナ 終了

FB 「青年のための聖書の学び」

HP <http://www.concepcionistas.jp/>

基本的に毎月第3日曜日が「聖書の学び」の日です。

連絡先 ☎052-782-5850 名古屋千種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教師道会

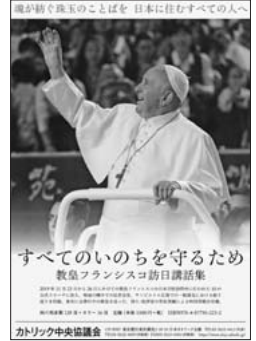
担当者 シスター碓(いかり)政子
シスターヨハンナ(金 聖直)

新刊書のご案内

2019年11月23日から26日にかけての教皇フランシスコの日本司牧訪問中に行われた10の公式スピーチに加え、原発についての発言が大きな反響を呼んだ帰途への機中での記者会見、サンピエトロ広場での一般謁見における振り返りを収録。また豊かな表情が魅力的な教皇の各行事での写真をカラー16ページ分差し込みしています。

教皇フランシスコ 「すべてのいのちを守るため」 教皇フランシスコ訪日講話集

編集 カトリック中央協議会出版部
定価 本体1,100円+税10%



毎年発行しています司教協議会イヤーブックの最新版。今回は教皇訪日を取り上げ、巻頭にカラー写真を中心とした特集を組んでいます。

主な収録内容 日本カトリック司教協議会、16司教区、資料統計など。

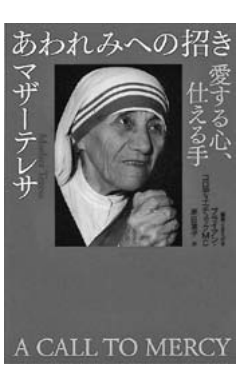
日本カトリック司教協議会 イヤーブック2020

編集 カトリック中央協議会出版部
定価 本体1,300円+税8%



あわれみへの招き 愛する心、仕える手

著: マザーテレサ 訳: 原田 葉子
定価2,700円(本体)+税



本書『あわれみへの招き』は、マザーテレサの簡潔であり深い言葉とともに、愛と教えと、それを日々どう実践していたか、具体的な例を紹介しています。そして間近で接した人びとからの未発表の証言と祈りや実践のための勧めも納められています。



2月の教会暦
 2日(日) 主の奉獻(祝)
 3日(月) 福者ユスト高山右近殉教者(祝)
 5日(水) 日本26聖人殉教者(祝)
 6日(木) 聖アガタおとめ殉教者(祝)
 9日(日) 年間第5主日
 10日(月) 聖スコラスチカおとめ(祝)
 11日(火) 世界病者の日(ルルドの聖母)任意の記念日
 14日(金) 聖チロロ隠世修道者 聖メトジオ司教(祝)
 16日(日) 年間第6主日
 22日(土) 聖ペトロの使徒座(祝)
 23日(日) 祝年間第7主日
 26日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
 四旬節愛の献金(四旬節の期間中)
 3月の主な教会暦(主日・祭日など)
 1日(日) 四旬節第1主日
 8日(日) 四旬節第2主日
 13日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日
 15日(日) 四旬節第3主日
 19日(木) 聖ヨセフ(祭)
 22日(日) 四旬節第4主日
 25日(水) 神のお告げ(祭)
 29日(日) 四旬節第5主日

教区行事予定 (* 松浦司教)
 1日(土) 殉教者祭(栄国寺) / 殉教者祭(金沢) *
 2日(日) 聖心教会献金式 * / 宣教司牧評議会 *
 5日(水) カリタス福祉委員会
 8日(土) 信徒協役員会 / 殉教者委員

22日(日) 教区中高校生会
 21日(土) 記念日 / レジオ名古屋クリア
 21日(土) 青年委員会「WY D in名古屋」 *
 20日(金) 祝司祭・修道者金銀祝の祝い *
 21日(土) 名古屋教区司教座聖霊堂
 21日(土) 名古屋教区司教座聖霊堂
 21日(土) 名古屋教区司教座聖霊堂

26日(木) 教区顧問会 *
 27日(金) ベトナム司牧者の集い *
 28日(土) 教区法人評議会 *
 28日(土) 29日(日) 教区障害者の黙想会・総会
 30日(月) 4月1日(水) 教区中高校生会「春のフォーラム」 *
 2月 教区行事以外の松浦司教予定
 5日(水) 日本難民移住移動者委員会
 6日(木) 常任司教委員会、子どもと女性の権利擁護のためのデスク
 17日(月) 21日(金) 司教総会
 12日(木) 常任司教委員会、社会司教委員会
 13日(金) 日本難民移住移動者委員会
 23日(月) 日本難民移住移動者委員会、子どもと女性の権利擁護のためのデスク
 24日(火) 南山学園評議員会

告知板
 福信館便り ☎052(935)7180
 ◇2月の炊き出し 木6日東山、13日布池、20日聖霊・南山、27日城北、金7日喜望峯の会、14日一宮、21日布池、28日長浦
 ▼名古屋教区行事予定表の訂正
 年末に配布しました行事予定表に訂正がありますので報告します。
 正 5月10日(日) 一粒会委員総会
 誤 5月17日(日) 一粒会委員総会
 教区HPに教区行事予定表を掲載。変更など随時更新しておりますのでご覧ください。
 (名古屋教区宣教司牧評議会)

カルメル修道会 土曜静修 in 名古屋
 一カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日ー

日時 2月1日。以降未定。
 ★月により週が異なるのでご注意ください。
 いずれも土曜日。13:00~17:00
 講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。
 場所 カルメル修道会 日比野(本部) 修道院(カトリック日比野教会)
 交通 地下鉄名港線「日比野」駅下車徒歩約8分
 その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。当日は千円程度のご寄付をお願いします。ゆるしの秘跡にあずかることができます。
 問合せ 男子跣足カルメル修道会 一日静修係 FAX 052-681-6445 E-mail hibino@carmel.or.jp

主にささげる24時間~聖体礼拝
 主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。
 日時 毎月第2・第4木曜日 木曜日19:00~金曜日19:00
 場所 主税町記念聖堂 名古屋市東区主税町3-33
 主催 カトリック名古屋教区
 問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
 責任者 平田政信神父 携帯電話090-1623-1170

第14回『あとから来る者のために』原発勉強会
 どなたでも、気軽にご参加ください。一緒に原発について考えましょう。
 日時 2月8日(土) 13:30~15:00
 場所 カトリック布池教会信徒会館3F 名古屋市東区葵1丁目12-23
 参加費 200円 主催 次世代を考える会
 問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

《ロザリオの祈り》
 修道院のチャペルでシスターたちと一緒に「ロザリオの祈り」をしましょう!どなたでも自由に参加できます。
 日時 2月9日(日) 14:00~(約40分程です)
 場所 聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院2F) 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443

第51回 名古屋教区典礼研修会
 Populo Congregato Part 5
 みことばの宴(「言葉の典礼」における信徒の奉仕職)

日時 2月11日(火・祝) 9:30~16:30
 場所 カトリック南山教会 名古屋市昭和区南山町1マリア館ホール
 講師 石井祥裕さん(日本カトリック典礼委員会、上智大学講師(典礼学)、「聖書と典礼」編集長)
 参加費 500円
 申込み 申込用紙に必要事項を記入の上、Faxにて申込み Fax 052-836-2253 申込締切 1月25日
 主催 名古屋教区典礼委員会
 問合せ 典礼委員会 深堀政秀

光ヶ丘女子高等学校吹奏楽部 第43回定期演奏会

日時 3月24日(火) 17:15開場 18:00開演
 場所 名古屋国際会議場センチュリーホール 名古屋市熱田区熱田西町1-1
 交通 名鉄、JR 東海道本線、JR 中央線「金山」駅乗換。地下鉄名城線「西高蔵」駅下車2番出口徒歩5分
 入場券 指定席 1,000円、自由席 500円
 入場券の販売方法は後日ホームページ等でお知らせします。
 曲目 ○クラシックステージ ○ポップステージ
 問合せ ☎0564-51-5651
 光ヶ丘女子高等学校 日野、鶴田、谷本

建設費の返済に協力を

609件 29,460,990円
 目標額 40,000,000円(12月末)
 達成率 約73.6%

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

第15回ホスピス聖霊講演会のご案内

日時 2月22日(土) 13:30~15:00 (開場13:00~)
 会場 聖霊病院2階聖霊ホール
 テーマ 「生と死に対する日本人の経験知」
 講師 カール・ベッカーさん(京都大学医学部 政策のための科学ユニット 特任教授)
 対象 一般、定員160名(定員になり次第締切)
 入場無料ですがホスピス聖霊のためにご寄付をお願い致します。
 申込 往復はがき 又はEメールで連絡下さい。
 締切 2月14日(金) 必着
 申込み及び問合せ先 〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56 聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係 ☎052-832-1181 (内線3316) Eメール katosha@seirei-hospital.org

「教区障害者の四旬節黙想会」の案内

テーマ 「信仰を守ること、つなぐこと」
 一美濃尾張キリシタン殉教者を通してー

指導司祭 浅井太郎神父(岡崎教会主任司祭)
 と き 3月28日(土)~29日(日)
 時間とプログラムは後日発表します。
 会場 南山学園研修センター

新作映画の紹介
テレンス・マリック監督作品「名もなき生涯」 A HIDDEN LIFE

ストーリー
 第二次世界大戦時代、ヒトラーへの忠誠を拒絶し、ナチスに加担するより自らの信仰に殉じたオーストリア農夫とその妻の実話です。キリストと家族への愛だけでナチスに立ち向かった夫婦がいたという。名古屋では2月21日(金)より伏見ミリオン座でロードショー。
 名古屋聖パウロ書院 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-2 http://pauline.or.jp